

(3) 普通部門担当者

沖縄県八重山支庁農林水産課 水産係長 玉城 正雄
技師 新里 勝也

(4) 行政部門担当者

沖縄県農林水産部水産振興課 振興係長 川崎 和男
技師 照屋 忠敬

県農林水産部漁政課 漁業調整係長 糸満 盛健

5. 協力機関名

石垣市水産課、竹富町経済課、八重山漁業協同組合

6. 調査研究活動の目的および方法

石垣島・西表島におけるマングローブ干潟域漁場の有効利用について検討することを目的とする。方法として、既存資料、現地調査等により、その環境特性を抽出するとともに、聞き取り、既存資料等による漁業実態調査を行ない、有用水産生物について検討する。また、天然稚幼魚のナマサリ網としての評価とノコギリガザミ種苗放流等による栽培漁業の展開の可能性を主検討事項とする。

7. 調査研究活動の結果

(1) 地区の自然環境

八重山群島は、北緯24°~25°30'、東経123°~124°に散在する大小30余の島々で、我国の最南端に位置する。

島の面積は、西表島が284㎏、石垣島が221㎏で、沖縄本島に次ぐ広さであり、それぞれ全県面積の12.6%、98%を占めている。島のうち西表島は、総面積の90%が原生林（国有林）であり、耕地面積は1.8%である。石垣港から同島の港まで約30kmの距離にある。

島の気象は、亜熱帯性気候に属し、平均気温は23.4℃、月別には、7月の最高気温が31.4℃、1月の最低気温が15.2℃である。降水量は、2,407mmで、5月~6月と8月10月に多い。400m級の山岳が海岸まで迫っており、浦内川、仲良川、仲間川等の大きな河川が奥地深くまで蛇行している。その河口部は広大なマングローブ地帯となっている。

(2) 地区の経済・社会の現状

地区の人口は、昭和59年には43,953人で、このうち92%の40,499人は石垣市で、竹富町は3,454人である。竹富町の人口の半数は西表島に居住している。

地区の就業者数は昭和55年の国勢調査では18,507人で、産業別には、第1次産業が23%、第2次産業が23%、第3次産業が54%である。竹富町は1,928人で、第1次産業が46%、第2次産業が15%、第3次産業が39%である。

地区の産業は、農業では、さとうきびを中心に、パイナップルや端境期出荷を旨とした野菜類、肉用牛の畜産が盛んである。第3次産業は近年、観光産業の進展が著しい。

西表島の産業は農業が主体で、製糖工場がある。また、同島は特異な動植物相や亜熱帯特有の